

今月のトピック

◆南会津地方の

グリーン・ツーリズム推進に向けて

3月11日、田島町「田島建設会館」にて、平成10年度実施の南会津グリーン・ツーリズムまるごと体験モニターツアー実績検討会の終了後、その関係者だけでなく、管内全域の関心のある人に対象に広げ、南会津地方グリーン・ツーリズム推進大会を開催しました。

大会では、岩手県の菊池新一氏（遠野ふるさと公社事務局長）による「遠野グリーンツーリズムの拠点・遠野・風の丘のとり組み」と、地元の瀬田恒雄氏（針生のペンション「会津六名館」オーナー）による「南会津におけるグリーン・ツーリズムの可能性」と題する二つの講演が行われ、講演終了後は、両氏を中心にグリーン・ツーリズム推進のための方策などについて意見交換会が行われました。



2人の先生を迎え講演を行った

◆会津地鶏を使った料理講習会

3月19日、下郷町の下郷ふれあいセンターで下郷町特産の会津地鶏を使った料理講習会が開催されました。

講習会には、町内の旅館や民宿、食堂などで働く25人が参加し、今年度の南会津自慢料理コンクールに「会津地鶏のブドウ煮」を出品し優秀賞に輝いた星幸子さん（田島町・ラーメン幸店主）が講師を務め、ブドウ煮のほか、ささみの磯辺巻

き、手羽先のいため煮など会津地鶏の素材を生かした鶏肉料理についても教えていただきました。

講習会に使用した会津地鶏は、肉に弾力があってうまみが濃いうえ、脂肪が少ないヘルシーな地鶏として県内でも高い評価を得ています。

実習の後は、星さんを交えて懇談し、会津地鶏の消費拡大などについて意見を交わしました。



受講生に料理を教える星幸子さん

◆角田ミルクプラントが受賞

～堆きゅう肥自給飼料生産技術コンクール～

3月19日、県内の畜産農家が、家畜のふん尿を堆肥化させた「堆きゅう肥」と、牧草などの「自給飼料」の生産技術を競うコンクールで奨励賞を受賞された南郷村の角田ミルクプラント（角田毅氏）が表彰されました。

コンクールには、県内の畜産農家や研究団体などから72件が出品されました。その中で角田ミルクプラントは、県畜産課長を審査長とする畜産団体や関係機関の代表者10人の審査員によって、現地調査に基づく生産・管理状況などの総合的な成績から選ばれたもので、環境の保全や堆きゅう肥を飼料生産に結びつけた優れた経営が評価されました。

◆JA会津みなみ園芸振興大会

3月3～4日に会津若松市芦ノ牧温泉、丸峰観光ホテルにて、「のぼそう園芸作物・美緑新鮮（みりょくしんせん）」のスローガンのもとに園芸振興大会が開催されました。

大会では、農協利用で販売金額1000万円以上の農家で構成される10会メンバーと優良農家の表彰、平成11年度園芸振興方針の説明が行われました。

その後、青果市場、生花市場の方々から南会津の園芸作物に期待を込めて、厳しい注文などを含んだ記念講演会が開催され、高冷地としての特色ある園芸産地を確立するための研修も併せて実施されました。

◆南会津果樹研究会、総会を開催

南会津果樹研究会の総会並びに「ひめかみ」の果実品評会の表彰が、3月9日JA下郷支店会議室で行われました。

品評会の表彰では、福島県知事賞の木村美義氏を始め10名の方が表彰されました。

引続き総会が取り行われ、下郷町長ほかの挨拶の後、高品質果実と南会津の特徴ある産地作りのための事業計画が承認されました。

その後、クミアイ化学の星沢博孝先生を講師に、病虫害防除のための研修会も行われ、皆真剣に聞き入っていました。

◆ほ場整備後の農用地利用集積の推進を

3月2日南郷村役場において、南郷村における県営ほ場整備事業(担い手育成型)大新田地区、片貝・富山地区、和泉田地区の3地区合同の農用地利用集積推進委員会を開催しました。

本委員会は、ほ場整備事業実施の達成要件である育成すべき経営体(担い手)への農用地利用集積を農業関連機関が協力して推進するため、平成10年5月1日に各地区ごとに設立されました。

活動内容は、ほ場整備事業の実施を契機として、換地処分による農地の集団化と、地域の望ましい農用地利用を確立し、担い手への農用地の利用集積を推進するため、土地改良区が行う利用権設定又は農作業受委託の調整活動を推進するための指導・助成を行っております。

特集！農政改革大綱と新しい農業基本法について

前号に続いて、今月は新農業基本法のあらましについて説明します。

○新農業基本法の理念は？

新たに食料安全保障政策や農業、農村の持つ国土・環境保全などの公益的役割の維持等を農政に取り込む、次の理念をあげています。

- ①食料の安定供給の確保
- ②農業・農村の多面的機能の発揮
- ③農業の持続的な発展
- ④農村の振興

○理念を具体化する施策の骨子は？

①食料の安定供給の確保に関する施策

国内の生産を基本に、食品加工も含め国民の様々な需要に応え、良い品を合理的な価格で、非常時においても安定的に供給できるようにする。

②農業の持続的な発展に関する施策

人材の育成・確保、農地・用水等の生産基盤の整備とその有効利用を進め、意欲ある農業者が農業経営を発展・継承できる条件を整える。

また農業・農村の持つ、治山治水、水の確保、自然環境の保全等の役割を将来とも果たせるようにするとともに、自然環境に負担のかからない農業生産を維持・発展させる。

③農村の振興に関する施策

生活環境の整備等も含めた農村の総合的な振興策を推進するとともに、都市と農村の交流を進め、併せて条件の不利な地域に対する支援を行うなど、中山間地域等の振興策を講じる。

○新農業基本法の特徴は？

- ①食料自給率の目標を設定したこと。
- ②食品表示の適正化や食品産業の育成などを盛り込んだ消費者重視の食料政策を挙げたこと。
- ③生産性の向上や需要に即した生産による効率的・安定的な農業経営の育成をめざしたこと。
- ④意欲ある専門的農業者の創意工夫を生かした経営展開に対する支援。
- ⑤従前の価格支持政策から経営安定政策へ転換したこと。
- ⑥条件不利地域の生産活動維持に対する支援等中山間地域に対する直接支払いの導入。

○新農業基本法に基づく今後の施策の展開は？

基本法に基づく施策を総合的、計画的に進めるための基本計画を作りますが、概ね5年ごとに、情勢の変化や施策の評価等を踏まえ、基本計画を点検、見直しを実施するとしています。

人事異動のお知らせ

南会津農林事務所では企画部の大橋儀さん、森林林業部の渡邊寅男さんが3月31日をもって退職されました。また、4月の人事異動により24人が転出、26人が新たに配属となりました。

◎ 転入者紹介

所 属	氏 名	旧 所 属	転入者から一言
企画部	浅井源一郎	農業振興部	引き続きよろしくお願ひします。
〃	渡部 有	新規採用	“有”と書いて“なお”と読みます。よろしく!!
〃	横田真良	畜産試験場	このニュースの担当です。ご協力願ひします。
〃	星 宏典	会津農林事務所	今年からよろしくお願ひします。
〃	鈴木長吉	南会津建設事務所	建設事務所から来ました。よろしくお願ひします。
農業振興部	馬場又平	会津地方振興局	田島町生まれです。どうぞよろしく。
〃	遠藤孝悦	畜産課	巡り会い再び。15年振りに南会津に参りました。
〃	鈴木洋児	審査課	趣味はゴルフ(実力は?)です。
〃	古内忠信	県民生活課	未経験の仕事ですが、楽しみでもあります。
〃	湯田守英	農業短期大学校	生まれて初めて田島に住むことになりました。
〃	永井龍太郎	新規採用	元気で明るく仕事に取り組みます。ヨロシク!
農村整備部	伴場省三	富岡用水改良事務所	南会津の自然、風土に親しんで行きたい。
〃	吉津澄人	県北建設事務所	11年目にして初めて地元勤務となりました。
〃	鈴木秀一郎	農林検査課	初めての南会津勤務です。よろしくお願ひします。
〃	赤塚康志	県中農林事務所	御指導、御鞭撻の程をよろしくお願ひします。
〃	佐藤知憲	新規採用	換地を担当します。よろしくお願ひします。
森林林業部	八代雄二	森林土木課	四季豊かな自然の中で仕事ができる喜びを感じる
〃	松崎 明	林業試験場	田島は初めてになります。よろしく。
〃	奥寺芳夫	林業振興課	16年ぶりの田島勤務です。よろしく!
〃	飯村勝治	県南農林事務所	何事にも全力を尽くしたいと思ひます。
〃	齋藤直彦	県南農林事務所	雪国は初めてです。先日の降雪には驚きました。
〃	益子利江	会津農林事務所	初めての田島です。皆さんよろしくお願ひします。
〃	伊藤博久	会津農林事務所	皆さんどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
農業普及部 (普及センター)	武藤 伝	農試試験場会津支場	精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。
〃	長谷川 浩	白河普及センター	白河から来ました。よろしくお願ひします。
〃	林 有子	新規採用	活力ある農業の普及に力を注ぎたいと思ひます。

◎ 転出者

旧所属	氏 名	転 出 先	旧所属	氏 名	転 出 先
企画部	小川一郎	喜多方建設事務所	農村整備部	小畑徹也	会津工業高等学校
〃	湯田富士子	南会津地方振興局	〃	田代広信	県北農林事務所
〃	松澤 保	会津農林事務所	〃	児玉守智	県中農林事務所
〃	弓田 博	会津農林事務所	森林林業部	佐藤 守	林業振興課
農業振興部	浅井源一郎	企画部	〃	星 修一	県南農林事務所
〃	須永静夫	農林総務課	〃	近藤仁志	森林整備課
〃	柚木賢治	会津地方振興局	〃	湯田正紀	県北農林事務所
〃	小池秀朗	喜多方建設事務所	〃	小林正光	森林整備課
〃	榎原利浩	農業短期大学校	〃	平塚美紀男	いわき農林事務所
〃	矢内伸佳	畜産試験場	農業普及部 (普及センター)	小田康典	福島普及センター
農村整備部	穴澤健夫	農地計画課	〃	高橋順一	伊達普及センター
〃	湯田一雄	田島高等学校	〃	山口繁雄	園芸蚕糸課

～研修会・講習会のお知らせ～

農業短期大学校・会津農業センター研修

内 容	日 時	場 所
①公開講座：～トルギキヨの周年出荷を考える～ 講師：元サカタ職員 八代嘉昭氏	4 / 28	会津農業センター
②トラクタ基本運転（第1回） トラクタの基本的操作と安全運転技術を習得し、大型特殊自動車運転免許（農耕車限定）の取得を目指します。 対象：普通自動車免許所有の農業者	5 / 31～ 6 / 3	農業短期大学校内
③市民農業講座：家庭菜園～栽培技術と楽しみ～ 内容：野菜の生理、春夏野菜の栽培技術	5 / 27	農業短期大学校内

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

窓

3農3K

北海道事務所勤務の折り、道東は酪農地帯の別海町、県人会で、ある老人との対話。

「俺は〇農だ」、「そうですか、酪農ですか。乳牛何頭」、「違う違う、〇農」？

「じゃ、楽農ですか、そんな言葉は無いけど、悠々自適で楽しんでいるんですか」

「そうじゃなくて、落ちる農業で落農、牛も土地も手放してバアチャンと二人だべさ、だから落農。」

「は、そうですか」それきりで会話は途絶えた。

現実には、たしかに高齢化で、後継者不足であり、当管内でもあちこちで見られる落農？。せめて、自給自足で、牛一頭でもいいから酪農で、生き甲斐としての楽農？であってほしいと思う。

農業は3Kで、きつい、汚い、危険、などと夢も希望も無いようなことを、長いこと言われてきたが、今や、管内では圃場整備も着々と進み、りんどうやカスミソウ、そばの花も咲き、きれいである。また、集落排水事業等で、快適な生活。さらに、トマトやアスパラのハウスでは、音楽を聴きながら、新規参入の人も、かっこよく働いているではないか。

これからは、「きれいで、快適で、かっこよく」新3K農業を目指して、・・・そうありたいものである。

所長 横田

3ヶ月予報

仙台管区气象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

4月 天気は周期的に変わるでしょう。日本海側、太平洋側共に平年に比べ晴れる日が多いでしょう。4月下旬の平均気温は、平年並の見込みです。

5月 天気は周期的に変わるでしょう。日本海側、太平洋側共に平年と同様に晴れる日が多いでしょう。

6月 天気は日本海側では平年と同様に周期的に変わりますがぐずつく時期があるでしょう。太平洋側では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

郵便・FAXどちらでも結構です。

この広報誌は再生紙を使用しております

あて先

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866

FAX 0241-62-5349